

いのち のち ひろば

毎月1回、中旬の水曜日に掲載

能登半島地震

JMAT活動記

小田原医師会(神奈川JMAT15班)

医師 石井 博司



いしいひろし 1966
9(昭和44)年12月9日
小田原市に生まれる。私立
浅野高校を経て佐賀医科
大学医学部を卒業後、東海
大学医学部呼吸器内科に
入局。大学では睡眠時無呼
吸症候群と各種生活習慣
病の関連を研究。東京都済
生会中央病院、東海大学医
学部附属病院勤務を経て
2012年に石井呼吸器
内科医院を開業、同院院
長()

令和6年1月1日、正月に
珠洲市内を震源としたM
7.6の地震が発生。以来土
砂災害・火災・津波などによ
り死者2444名(3月26日
時点・災害関連死15名を含
む)他、地域に多大な被害が
あったことは報道の通りで
す。県西部からも行政・ボラ
ンティア他、多くの有志が
現地に入り救助・災害支援
活動に携わりましたが、小
田原医師会からも3月14日
から17日にかけて、JMAT
活動の一環として災害支援
に1チームを派遣すること
となりました。

【活動開始まで】

医師1名・看護師1名・口
ジ2名からなる支援チーム
は3月14日早朝小田原駅を
出発、新幹線で金沢駅まで
行き、医師会が手配してい
るレンタカーに乗車の上J
MAT調整本部のある石川
県庁で概略の説明を受け、
その後七尾市に移動(13時
過ぎ)。能登中部保健福祉セ
ンターで活動地域・施設内

【志賀町富来地域について】

能登半島西部、輪島の南
に隣接する人口約2万の地
域。岩礁地帯から砂浜、低山
まで多様な地形で構成され
ていますが、今回の地震で
は輪島市門前町とならんで
震度7を記録。輪島に近い
北半部富来地域の被害が特
に甚大でした。地域内はも
ともと小学校・中学校とも
に1校のみで避難先は公民
館や防災センター他の公共
施設の比重が高く、震災当
初は各施設に避難者が詰め
めになっていた、と避難者
からうかがいました。もと
もと全国平均と比較し診療
所の少ない地域で、地域医
療において町立富来病院の
占める比重が大きく、七尾
市や金沢など外部の医療機
関に通う方も多い地域であ
ったようですが、今回ま
さに病院のあった地域周辺で
大きな被害があったよう
です。町の南半志賀地域では
1月10日以前には病院・診
療所の活動が復旧してきた
、とつかがいましたが、訪問
時点で富来病院ではプレハ
ブで病床を最低限確保、常
勤医師数が十分ではなく救
急/発熱外来を当面JMA



地震により道路が隆起(能登
半島地震、写真ACCより)

容について統括JMAT
(能登中部調整支部にて活
動内容を調整・宮城県医師
会)と前の班から引継ぎを
受け、以降JMAT15班と
して能登中部でも特に被害
の大きかった志賀町富来地
域で活動することになりま
した。現状能登中部以南で
は道路の復旧はかなり進ん
でおり、2時間はかからな

【医療支援活動について】

筆者らが訪問した時期は
震災から70日余りが経過
し、該当地域でも仮設住宅
などへの設営・入居が進み
始め、避難所の入所者は明
瞭に減少、町全体の避難所
自体も統合・整理を始めて
いる状況でした。残ってい
る避難者の方は圧倒的に高
齢者が多く、災害弱者的性
格について配慮する必要の
ある方々でしたが、そのよ
うな方も病院・診療所の再
開に伴い通院を再開してい
て、道路の復旧/薬局の再
開から内服薬も普段のもの
が確保されている状況で、
災害支援的な医療ニーズは
確実に低下している状況で
した(災害当初のDMAT、
JMAT、JDATなど各

- 14日 午後避難所2カ所
- 15日 午前町立富来病院
(救急・発熱外来)
- 16日 午後避難所2カ所
富来地域の避難所3
カ所・南半志賀地域
の避難所1カ所
- 17日 午前避難所1カ所

隊の活動が有効であったと
の感謝の言葉があちこちで
ありました。訪問時各避難
所に残っている方は概ね2
割以下で、だいたいの方は
自宅の片づけやデイサービス
などにかけていて、残
っているわずかな方に計4
日間診察6名、ヒアリン
グを40名ほど実施しまし
た。訪問期間中COVI
D-19陽性を1名診察しま
したが自宅避難の方で、避
難所では特に感染症の発生
は報告されませんでした。
上記の上
記の上
記の上

【情報伝達の重要性】

活動中頻りにSNSで相
互に連絡をとり、また15日
と16日の夕方には志賀町役
場にて保健師会議に出席、
該当地域で活動している行
政、DWAAT(保健師)、J
RAAT(リハビリ)、現地の
医師と情報を交換しまし

た。15日の会議で現地行政
の保健師・DWAATの2チ
ームと個別に顔合わせ、課
題について情報共有をしま
したが、翌16日には前日顔
合わせした方から報告を受
け86歳下肢痛の方を診察す
ることとなりました。医療
介護における多職種連携の
意義は災害の場でこそ発揮
される、との感を深めた次
第です。

【JMATについて】

日本医師会が組織する災
害医療チーム。神奈川県医
師会では令和6年2月1日
より、宿泊・ライフラインを
自活しうるタイプAと、自
活せず金沢から連日支援先



志賀町富来地域稗造防災センターにて患者を診察

今月のひらば

災害は
いつくるものと わから
明日に備えて 今日のみ

次回は5月中旬に「たばこの害に
ついて」を掲載予定です。



令和6年3月14日～3月17日
 JMAT 派遣 行かか頂戴
 厚木医師会 引きぎ → 小田原医師会 (石川町及び Dr. NS. 専務)



3/14 15:00 稗造 (ひえつくり) 防災センター
 34名 → 現在 22名 日中 5名 (他の方は仕事や畑に行っている 夜間戻って来る)

●●●●●様 女性 76才
 主訴 眩暈
 3/13 眩暈出現
 食べると嘔気出る様で今朝はパン摂取するも昼は食べていない
 起立時・頭部をゆらすと眩暈出現 トイレはご主人に付き添われ行っている
 1人で歩行は心細い 嘔吐なし
 KT36.0°C P83 SpO2: 97% BP132/97mm g
 フーバー兆候なし パレーサインなし
 既往歴 骨粗鬆症: エディロール服用 解熱剤・メリスロン持参
 家族歴 狭心症
 喫煙歴 以前よりなし
 飲酒歴 飲まない
 Dr より

① ゆっくり動いて下さい
 ② メリスロン服用継続して下さい
 ③ 長びく場合は耳鼻科受診お勧めします
 3/15 息子さんの所に行かれた
 食事は職員 (愛知県) が運んでくれる
 朝: 菓子パン 昼: おにぎり 夕: お弁当
 トイレ・手洗い OK 入浴: 自衛隊の風呂 2日/1回

3/14 16:00 稗造り公民館 畳部屋
 15名 日中 3名 (夜間戻って来る) イヌ 1匹 (柴犬)
 体調悪い方いない 寝たきりの方は居ない 家族で避難者はいない
 困ったことなし COVID-19に感染したかたはいない
 2月中旬 水が使え台所使えている
 入浴は自衛隊のお風呂 バスが循環しているので乗っていく



3/15 9:00 富来 (とぎ) 病院
 救急外来案内される
 エプロン・手袋装着
 ① 1人目 QQ車で搬送 女性 ●● Dr 指示あり
 採血・レントゲン・COVID-19・FLU 抗原検査 (陰性) → 肺炎
 入院となる
 ② 2人目 男性 熱・花粉症
 採血・レントゲン・COVID-19・FLU (陰性) 気管支炎にて → 内服処方帰宅
 ③ 3人目 自家用車で診察 男性 熱発
 既往歴 DM・BMI19・CKD
 COVID-19・FLU 抗原 (COVID-19 陽性)・採血・レントゲン
 SpO2: 94% → ストープにあたりゼリー状水分摂ったりして SpO2: 97% ↑
 ラゲブリオ処方 → 帰宅

12:00 過ぎ富来病院出発
 3/15 13:47 領家町コミュニティセンター
 トイレ車 (男・女 3台) 簡易トイレ 2個
 30人 日中 4-5人
 体調悪い方はいない
 職員が食事配ってくれる (3食)
 感染症発症なし 下水道多少制限あり
 保健所の衛生チーム来た 保健師定期的に来てくれる
 感染対策チーム来ていない リハビリ来ていない
 精神科医チーム来ていない 消防団来ている
 警察は何回となく見回りに来てくれた
 ボランティア来ていない
 段ボールにてプライベート空間確保されている
 ほとんど日中は自宅に帰り片付けをしている
 朝 7:00 夕体操の時間がある
 小学校は避難所にならなかった
 寝たきりの方は富来病院に入院
 子供さんの所に行った方も居る

91才 女性
 1/1 金沢のお友達と話をしていたガタガタと音がしてお茶碗等が落ちて割れてしまっ
 た 戦争を体験しているので現在の方が全然ましだと。

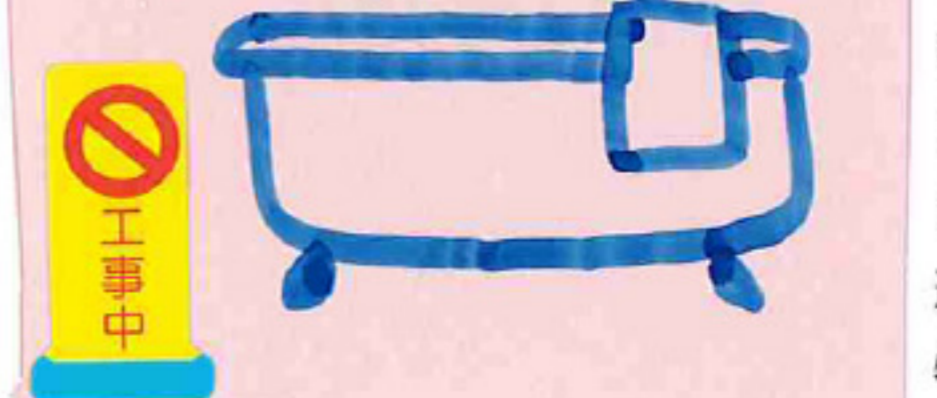
〈通常診療〉
 患者様
 大勢です。

Point



目 トレットペーパー・モ布
 はかりしモダン・インボイス
 下着 日
 水・ホコ
 び・ホコ
 みした。

自衛隊の
 70 → 循環バス



- ☑ あなたや家族の避難先を調べておきましょう
- ☑ 非常持出品を確認、準備しましょう
 まず持ち出すのは男性15kg 女性10kg程度が目安。
 携帯トイレの備蓄も忘れずに。
- ☑ 最低3日分、できれば1週間分の水・食料・日用品をローリングストック法なども活用し、備蓄しましょう
- ☑ 職場や外出先等での地震に備えましょう
 長時間にわたって交通機関が動かなくなり、帰宅困難者になる可能性があります。
 外出時に被災した場合の連絡方法等について家族で確認しておきましょう。



3/16 10:57 志賀町交流センター
 ●●さん 女性 80代 介護度 2
 左足首の腫脹
 SpO2: 95% P73 BP140/64mm g 右 BP130/62mm g 左
 左足首関節変形 変色なし
 DM あるが内服出来ていない 昨日自宅で片付けをした (動いたと)
 本日朝パンを食べた
 48才の時ご主人が他界その後1人で生活
 再度 BP168/80mm g 右 SpO2 97% P38 左 SpO2 97% P37
 心電図 (簡易) 脈少ない
 右足・左足 挙上 OK
 DM の管理が出来ていない
 1/24 BS153 HbA1c 10.5%
 2/21 BS205 HbA1c 8.8%
 今後服薬管理をキッチンとして持参のコロナールで痛みの緩和と管理



仮設トイレが
 たくさんあります。



物資
 10. おにぎり・お弁当

3/16 9:16 稗造り防災センター
 日中は 5-6人 朝は体操している (6:00)
 浄化槽はまだ使えない 仮設トイレ使用
 ここの集落は被害がなく避難者 0名
 稗造り防災センターより上部の方が避難している
 1/1 停電 3日間発電機あり → 使用していた
 1/1 防災センターに 100人いた
 避難解除されても自宅に帰れない方が居る
 物資 → 2/20 開通 → 輪島にも行けた
 上水道は 2月下旬に (金沢まで自衛隊が行ってくれた)
 ここ 2か月間の間病気 (処方箋) → 富来病院 Or 金沢医科大にて出していた